

別紙2（任意評価様式第3号）

農山漁村活性化振興交付金

山村活性化対策

平成30年度 事業実績評価 資料

事業主体 小国町

山形県西置賜郡小国町

平成 30 年度 農山漁村振興交付金（活性化対策）実施状況

I 平成 30 年度事業実施計画及び実績について

(1) 事業目標に関する成果目標

指標	H29	1年目 (H30)	2年目 (H31)	事業目標の 達成年度 (H32)
(所得に関する指標) 本事業による年間売上の総額	—	—	—	100 万円
(雇用に関する指標) 本事業による新規雇用者	—	—	—	1 名
(販売額や商品開発数等の上記以 外の指標) 新商品及びコラボメニューの商品開 発数(累計)	—	—	—	3 件

(所得に関する指標)

- ・山菜やきのこ、米・雑穀を中心とした新商品、新メニューの開発及び販路拡大事業者ごとの年間売上の総額（対 29 年度）

(雇用に関する指標)

- ・山菜やきのこ、米・雑穀を中心とした新商品、新メニューの開発及び販路拡大事業者における新規雇用

(販売額や商品開発数等の上記以外の指標)

- ・山菜ときこのこ、米・雑穀における新商品及びコラボメニュー開発数（累計）
山菜ときこのこ、米・雑穀に関する新たな商品開発又はコラボメニューの数を目標とする。

(2) 平成 30 年度実績（参考）

①本事業による年間売上の総額

山村活性化対策事業販売実績（イベント出店販売データ）

【単位：円】

	H29	H30	H31	計
きのこ	65,950	465,430		531,380
山菜	22,210	139,580		161,790
米	3,450	94,940		98,390
雑穀	71,720	100,220		171,940
その他	49,850	279,840		329,690
	213,180	1,080,010	0	1,293,190

※当該指標に関するデータ比較は、対象事業者ごとに、年間売上の総額を対平成 29 年度と比較するものであり、当該データは参考資料である。

②本事業による新規雇用者

農業法人おぐにきんたけ工房において、しいたけやきくらげの増産体制強化、販路拡大に伴う雇用が2名発生している。(H30)

③新商品及びコラボメニューの商品開発数(累計)

(参考 H29 年度他事業を活用して商品開発されたもの)

番号	商品名	開発事業者	商品画像
①	たかきび(雑穀)中華まん	(企)旬彩工房	
②	わらび(山菜)中華まん	(株)美森ファーム	
③	たかきび(雑穀)ジェラート	(株)小国いきいき街づくり公社	

(参考 H30 年度当事業を活用して商品開発されたもの)

番号	商品名	開発事業者	商品画像
①	白い森ホワイトチョコの雑穀ソフト	(有) 白い森よこね物産直売所	
②	わらび餅(わらび粉) ～開発中～	新設わらび粉生産組合(販売 水の郷交流館、白い森よこね物産直売所)	

II 平成30年度事業実施計画及び実績について

(1) 地域資源の賦存状況・利用形態等の調査

①先進地地域ブランド調査事業（H29に実施、H30は実施無し）

(2) 地域資源を活用するための合意形成、組織づくり、人材育成

①地域ブランド戦略検討事業

前年実施した試食会結果を踏まえ、随時、新しく改良、開発した加工品や名物料理等を年次的、段階的に町民参加の試食会や講演会を行い、若者・女性など新規顧客へ客層を拡大させるなど、特産品の地域ブランドづくりに向けて住民の関心や意欲を高め、ブランドづくりの過程を住民とともに共有していく。

●研修会、商談会、住民試食会

<事業実績>

実施事業：雑穀に関する研修及び商談会

日 時：平成30年6月22日（金）～23日（土）

視 察 先：山形県鶴岡市 アル・ケッチャーノ、産直めぐり

参 加 者：白い森ブランド戦略室2名、おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員1名

内 容：1) アル・ケッチャーノ、イル・ケッチャーノでの研修及び商談
2) 庄内観光物産館、産直めぐりでの研修

結 果：アル・ケッチャーノが地域ブランドを確立するまでの経緯経過について学んだ。
たかきび関連商品（ジェラート、うどんほか）については、ストーリーが大切であるほか、実際に試食してもらいアドバイスをいただくことができた。

事 業 費：59,636円



事業成果：アル・ケッチャーノでは、雑穀に関する具体的なアドバイスを得ることができたが、直接的な取引につながる話はいただけなかった。再度、雑穀商品についてはアドバイスを反映した形で商品開発を再検討する必要がある。一方、産直めぐり視察については、本町の農業者、生産者からは、自分たちが利用できる加工場がほしいとの声が多いことから、運営形態等も含めて今後の参考となった。

<事業実績>

実施事業：山村活性化業務に係る研修等旅費

日 時：平成31年2月14日（木）～15日（金）

平成31年3月19日（水）～20日（木）

視 察 先：東京都ほか

参 加 者：白い森ブランド戦略室3名

内 容：1) 山村振興特別委員会出席と関係イベント視察
2) 農泊事業に関する打ち合わせ

事 業 費：124,900円

●住民試食会及び発表会

<事業実績>

実施事業：おぐにもんマルシェ

日 時：平成30年7月14日（土）

会 場：アスモ中央広場、旧まるいち跡地

参 加 者：白い森ブランド戦略室1名、おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員1名
その他事業者2社

内 容：本町の特産品のひとつである雑穀について、マルシェを開催し、あわせて雑穀料理を紹介し、住民に広く試食してもらう。（詳細は別紙のとおり）

事 業 費：21,180円

区 分	美味しい		ふつう		計
	男	女	男	女	
雑穀サラダ	6	19			25
たかきびからこ	3	10	1		14

区 分	男	女	計
作ったことがある	2	6	8
作ったことはないが食べたことはある	3	7	10
食べたこともない	5	9	14



☆たかきび☆

- 食物繊維
- ナイアシン
- 葉酸
- マグネシウムが豊富！

たかきびからこ





雑穀サラダ

◀ 期待できる健康への効果 ▶

- ・肥満や糖尿病、生活習慣病の予防
- ・皮膚や粘膜の健康維持
- ・冷え性や貧血の予防
- ・頭痛の緩和
- ・糖質、脂質、たんぱく質の代謝促進など

事業成果：①雑穀サラダやからこなどの試食品を提供したことによって、普段店頭に並べているだけでは得られない売上げにつながった。②消費者のネックはどう調理したらいいのかかわからず、手間がかかると思いこんでいることがなかなか商品に手が伸びない要因だとわかった。③今回試食を通じて、生産者と消費者が調理方法やおいしい料理の仕方などを、しっかり話すことで、安心感が生まれ購入につながった。④購入していただいた町民の中には、この商品は普段どこで買えるのかすら知らない方もいたが、PR次第では町内で雑穀ファンを作ることも可能と感じた。

<事業実績>

実施事業：白い森まるごと塾（Vol.5）「商品開発と販路拡大について」 & 住民試食会

日 時：平成30年12月19日（水）

<第1部> 特産品づくり講演会 14:00～15:00

<第2部> 地域商社講話 15:00～16:00

<第3部> 住民試食会 16:00～17:00

会 場：アスモ3階多目的ホール及び1階催事場

講 師：(株)生産者直売のれん会 コンサルティング事業部部長 伊藤 拓哉氏

小国町地域総合商社CSO 渡邊創一氏

内 容：<第1部> 特産品販売に関する講演会

<第2部> 地域総合商社の設立に向けた取組みについての講話

<第3部> 住民試食会

参 加 者：<第1部及び第2部> 52名（町内特産品販売関係者及び生産者ほか）

<第3部> 80名（上記参加者及び一般住民）

結 果：のれん会の講演は2回目。商品開発の定義や営業ツールとの関係、バイヤーが求める商品、「売り場」の重要性、ターゲットを意識した商品企画について学んだ。地域総合商社講話については、CSO 着任挨拶と今後の事業展開について講話をいただいた。

住民試食会には、町内5事業者が参加し、開発中の商品の試食、アンケートを行うとともに、白い森ラッピングコーナーを配置し、町民に評価をいただいた。

事 業 費：88,140円



事業成果：講演会では、商品開発に関するポイントや、販路拡大に必要な考え方を学ぶことができた。地域総合商社の講話では、着任したCSOの今後の考え方を理解するとともに、地域資源を活かしたビジネス展開に町民の期待感が高まった。また、住民試食会では、これまで開発された商品に改良を加えたものや、新たに商品化されたものが陳列され、話題を集めた。

(3) 地域資源の消費拡大や販売促進、付加価値向上等を図る取組

①地域ブランドプロモーション事業

地域住民等が主体になっている地域おこしのイベントに、山菜やきのこ、米や雑穀の新しい料理や加工品を出展・PRし、試食やアンケート等を実施する。

また、手間がかからず調理できるような商品や調理方法とあわせ、ブランドイメージのPRやアンケートも行う。

前年度決定したブランドストーリーと山菜やきのこ、米や雑穀といった主要な産品をPRするパンフレットの作成を行う。

青山ファーマーズマーケット出店および出品されている他地域の農産物の調査を行うとともに、山菜やきのこの加工品を出展PR（試食やアンケート等）し、他地域の売れる商品、ブランド品との比較検討を行う。

また、前年に引き続き特定の取引先として期待される東京若葉台のマンション管理組合の秋のイベントに出展し、小国の山菜やきのこ、米や雑穀のPRを行いながら、今後の交流事業の展開方法や、長期的な農産物の取引のしくみづくりについて、管理組合と進め方を確認する。

●地域イベント（町外）出展

<事業実績>

実施事業：山形県観光物産市出店

日時：平成30年8月4日（土）

会場：山形市七日町から本町、十日町十字路までの国道112号線上

参加者：おぐにまるごと農商工NW協議会員2名

内容：1) 雑穀関連商品の出店

2) 観光パンフ等チラシの配布による白い森の国おぐにのPR

事業費：18,200円



事業成果：たかきびジェラート、グリッシーニ等小国町の雑穀関連商品のPRができた。

<事業実績>

実施事業：東北食材試食会

日時：平成30年9月22日（土）～23日（日）

会場：東京都港区赤坂3-12-18-2F 東北酒家トレジオンポート

参加者：参加者なし（食材のみ郵送）

事業費：20,000円（補助対象外）



<事業実績>

実施事業：NSTまつり（新潟市）への出展

日時：平成30年9月28日（土）～29日（日）

会場：新潟市万代シティパーク及び万代十字路

参加者：町長、白い森ブランド戦略室4名、おぐにまるごと農商工NW協議会員4名

内容：1) 白い森おぐに秋のイベントPR

- ・紅葉シーズンに向け観光施設のPR/優待券(白い森)
- ・10/6～8 道の駅 合同秋祭り/スタンプラリー(道の駅)

2) 特産品（山菜、きのこ、米、雑穀等加工品）のPR・試食、販売

- ・いきいき公社の雑穀関連商品の試食、販売
- ・きんたけ工房のきのこ関連商品の試食、販売
- ・わらび中華まんの販売
- ・白い森木工品の販売

事業費：87,528円



事業成果：隣県、県境の町でもあり、小国町を知っている人が多く、十分なPRが図られたとともに、地域の特産品に興味を持った方が多く反応はかなり高かった。

<事業実績>

実施事業：おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会

日時：平成30年11月6日（火）

会場：山形市パレスグランドール

参加者：白い森ブランド戦略室3名、おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員3名

事業費：90,000円



事業成果：個別の事業者と具体的な商談ができた。いきいき公社商談7社、きんたけ工房6社、美森ファーム4社が商談を行った。

<事業実績>

実施事業：青山ファーマーズマーケット出展

日 時：平成30年10月12日（金）～14日（日）

会 場：東京都渋谷区神宮前（青山ファーマーズマーケット）

参加者：白い森ブランド戦略室3名、おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員4名

内 容：特産品（山菜、きのこ、米、雑穀等加工品）のPR・試食、販売

・山菜まぜごはんのもと（美森ファーム）や雑穀（旬彩工房）と小国の新米（つや姫）の炊き込みごはんの試食・PR

・雑穀菓子や甘酒、たかきびミルクジェラートの試食・PR

・きくらげやしいたけ料理の試食・PR、菌床栽培キットの展示・PR

結 果：わらびの一本漬けの試食効果から、山菜関連商品は、比較的売れる傾向にあった。「きくらげ」が、1日目で完売になるほどであった。商品の価値を説明することで、お客様への理解が得られ、購買につながった。

事業費：327,880円



試食品名	男	女	計	美味しい	普通	今ひとつ
わらび一本漬け	8	7	15	13	2	
山菜混ぜご飯	25	28	53	48	5	
雑穀甘酒	38	47	85	52	20	13
たかきびうどん	24	28	52	36	15	1
しいたけ焼き（バター味）	52	61	113	88	20	5
きくらげ辛し和え	39	57	96	85	9	2
	186	228	414	322	71	21

事業成果：試食者414名のうち、322名（77.7%）の約8割が美味しいと評価していただいた。特にきくらげの反応がよく国産きくらげを大きくピーアールできる可能性を感じた。山菜の一本漬けや山菜まぜご飯については、食べる場面や、手軽さが認められ、売り先やターゲットを絞っていくことも必要。

<事業実績>

実施事業：若葉台交流事業（出展及び自治会との意見交換会）

日 時：平成30年11月2日（金）～3日（土）

会 場：東京都稲城市若葉台（ファインストーリーア団地 会議室）

参 加 者：農林振興室1名、白い森ブランド戦略室4名、おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員2名

- 内 容：1) 白い森おぐにのPR
 2) やまがた芋煮の振る舞い 200食
 3) 特産品の販売（詳細は別紙のとおり）
 4) 住民との意見交換会（前日）

結 果：昨年に引き続き2回目の出展であったため小国町を認知している住民も多く売り上げについては昨年の3倍以上であった。新たな販路を広げるためにも、今後も継続した関係づくりを行って認知度の向上を図りたい。

事 業 費：497,793円



<山菜、きのこ、米、雑穀の主な意見（管理組合より）>

対象品名	コメント
山菜	<ul style="list-style-type: none"> ・時期的には山菜の加工品しかないため、山菜の生ものを出してほしい。 ・加工品のわらびの一本漬けなどは、つまみにはぴったりで非常においしい。
きのこ	<ul style="list-style-type: none"> ・きくらげやしいたけの試食もあったが、非常に美味しいと感じた。 ・菌床で作ったシイタケは、東京に住む人にとっては、インパクトあり。 ・しいたけがとても肉厚で、試食させてもらった簡単に焼いたものがすごく美味しかった。
米	<ul style="list-style-type: none"> ・お米は、すでに買うルートを持っているが、試食を出していただいたが、美味しかった。 ・炊き立てで味付けもしていないのに甘く感じた。 ・芋煮とおにぎりの組合せがよかった。子どもも喜んで食べていた。
雑穀	<ul style="list-style-type: none"> ・よく雑穀料理を作っていて、子供にも食べさせるようにしている。 ・簡単に使えるレシピ集などがあればもっと買いやすいと思う。

<事業実績>

実施事業：旅するレストラン

日 時：平成30年11月17日（土）

会 場：東京都港区赤坂 3-12-18-2F 東北酒家トレジオンポート

参 加 者：おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員2名

事 業 費：30,202円（補助対象外）



<事業実績>

実施事業：向ヶ丘遊園団地交流

日 時：平成30年11月29日（木）

会 場：川崎市多摩区東三田（レイディアントシティ向ヶ丘遊園団地会議室）

参 加 者：町長、白い森ブランド戦略室1名

結 果：新たなマンション交流事業として、東京稲城市の若葉台団地同様の交流が可能となるよう協議を行った。地域の特産品について、管理組合に評価をしていただいた。

事 業 費：27,743円



事業成果：昨年度より実施している若葉台団地との交流事業について説明し、当該エリアにおいても白い森おぐにのPRの場を提供いただき、特産品の定期購入等につないで、将来的には当該エリアの災害発生時には小国から物資が届くような仕組みを作りたい旨を説明し、理事長から交流の了解を得ることができた。

<事業実績>

実施事業：ふるさと交流ショップ台東出展

日時：平成31年1月17日（木）～1月22日（火）

会場：東京都台東区浅草4丁目36番5号 ふるさと交流ショップ台東

参加者：白い森ブランド戦略室4名、おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員4名

結果：1) 特産品の試食及び販売（売り上げ 738,370円）

2) 白い森おぐにのPR

（商店街でのアナウンス、プロモーション動画、観光パンフ等による）

3) 白い森ロゴマークノベルティ（スマートフォン対応手袋）の配布

（配布実績 670着）

事業費：430,746円



事業成果：初出店であったが、台東区担当者の全面的なバックアップもあり、スムーズに運営することができた。当初は土日の混雑を想定してスタッフを配置したが自治体が入れ替わる初日の木曜日が大変混雑したため、準備の人手確保も含め次回はスタッフの配置について見直したい。長期間にわたり、協議会員が協力し合い、自分たちの特産品が、確実に売れていくことで、自信を持つとともに、改めて、売る相手（ターゲット）や、売る場所の重要性を感じる事ができた。

<事業実績>

実施事業：山の恵みマッチングブース出展

日時：平成31年2月20日（水）～22日（金）

会場：東京都江東区有明3-10-1 東京ビックサイト

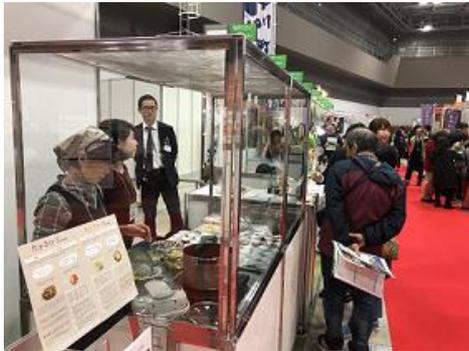
参加者：白い森ブランド戦略室2名、おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員4名

結果：1) 地域の食し方の提案！ライブキッチン（たかきび）

2) 白い森（山形県小国町）ブース出展・PR（ブースにおける特産品の試食、PR）

3) 白い森（山形県小国町）ブース出展における個別事業者商談（参加事業者による個別商談・名刺交換、サンプル配布）

事業費：302,892円



事業成果：ライブキッチンでは、「たかきび」の説明と調理方法を実演することで、バイヤー等の来場者にPRすることができ、数社と個別商談につなげることができた。ブース出展では、バイヤーとの具体的な商談とまではいかなかったが、名刺交換やサンプル配布により、それぞれの商材のPRができた。旬彩工房12社、いきいき街づくり公社17社、きんたけ工房5社、美森ファーム8社。特に、雑穀関係に興味を持つバイヤーが多かった。

②特産品ブランドプロジェクト事業

地域ブランド戦略検討事業により、今後の事業展開に必要な事業を実践するプロジェクトとして実施する。

2年目は、前年度着手したおもてなし料理の開発を継続するとともに、既存商品の改良やお土産品等（お土産品や小国特産ギフトセット、小国特産おもてなし弁当）の開発に関するノウハウや技術指導について、専門業者に業務委託を行い、企画提案を受けながら、商品開発を進める。

また、これら開発した商品の町内流通のしくみづくりの企画・提案を行う。（道の駅、町内交流施設、農村レストラン、町内飲食店）。

<事業実績>

実施事業：米袋の増刷と米袋PRカードの増刷

業者：(株)マルタカ

内容：白い森ロゴマーク、やくみつるデザイン「むすびの一番」の2種類の米袋増刷
白い森米袋のPRチラシ

事業費：82,944円（内補助対象25,920円）

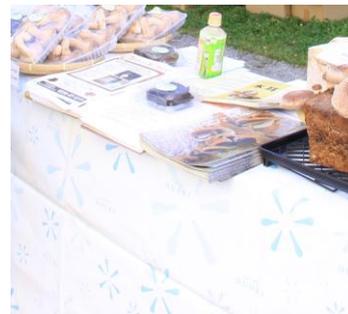


実施事業：菌床栽培PRチラシ、白い森ロゴマーク入りテーブルクロス

業者：(有)加藤印刷

内容：菌床栽培PRチラシ、白い森ロゴマーク入りのテーブルクロス製作

事業費：84,240円



実施事業：白い森贈答箱の作成

業者：(株)エスパック

内容：白い森贈答箱（春・秋）サイズ2種類 各100個

事業費：306,720円（補助対象外）



<事業実績>

実施事業：アルバイトの雇用

対象者：齋藤幸平

- 内容：1) 白い森まるごと塾作業補助、住民試食会・講演会等業務補助
2) 地域イベント出展業務作業補助、首都圏等ブランド PR 出展業務作業補助
3) おもてなし料理の開発業務作業補助、既存商品改良作業補助作業補助
4) お土産品開発作業補助、体験ツアー企画作業補助・
5) おぐにまるごと農商工連携 NW 協議会団体における特産品販売活動等実態調査
6) おぐにまるごと農商工連携 NW 協議会団体における特産品販売活動等協力活動

事業費：859,165円

実施事業：特産品ブランド化業務委託、わらび粉成分分析

調査期間：平成30年7月27日から平成31年3月15日

事業者：(株)生産者直売のれん会ほか

- 内容：1) ブランド戦略立案
2) マーケティング
3) 商品コンセプト策定

結果：市場調査をベースにお土産品開発検討会を設置、開催（6回開催）

事業費：2,194,804円



実施事業：雑穀ソフトクリーム販売促進業務委託

調査期間：平成31年3月5日から平成31年3月20日

事業者：(株)生産者直売のれん会

- 内容：1) ソフトクリーム試作品
2) 販促業務支援

結果：お土産品開発検討会で方向付けされた雑穀ソフトクリームの商品化試作

事業費：429,820円

小国町を代表するようなキラーコンテンツ

- ・わらび餅
- ・「しいたけ」「きくらげ」等のキノコ類
- ・たかきびアイス



事業成果：お土産品開発検討会を開催し検討を行ってきた結果、新設産わらび粉を使用した「わらび餅」を中心に進めてきたが、生産、管理体制が未整備であり、次年度以降の検討課題とした。道の駅のリニューアルのタイミングをとらえ、即効性のある商品として、雑穀のソフトクリームを商品化することとした。